

ゆみ
斎藤 裕未さん

法政大学 現代福祉学部 2年
神奈川県 横浜市出身

川俣町では、地域の方と密接に関わりながら農作業を体験でき、シャモまつりでは105羽の丸焼きを体験できると知り、インターンに参加しました！

やまと あき
大和 亜紀さん

法政大学 現代福祉学部 2年
東京都 青梅市出身

大学で学んでいる「地域づくり」を実践の場でも経験し、今後の学びに活かし、インターンに参加することで自分の視野を広げたいと思い参加しました！

1. この日はハウス1つ分のトマトの収穫を行いました。その場で自分で収穫して食べたトマトは、とても新鮮で、今まで食べた中で1番美味しかったです！

繋ぐ。地域づくりインターン事業とは、農業・まちづくりに興味のある都市部の大学生が、夏休みに農山村で一定期間生活をします。そして、農作業や地域の伝統行事、住民の方との交流をとおして、外部から来た若者の視点で、地域の良い部分を再発見すること、出会いのきっかけにすること、長期的・継続的に交流することを目的として実施している事業です。川俣町では、平成12年度から

事業を行っており、3年前から小島地区にて、インターン事業を実施しています。今年、東京都の法政大学に通う2人の大学生が、2週間の小島地区での農作業体験や子どもたちとの勉強会、シャモまつりでのボランティア活動などを行いました。2人のインターン生は「大学の授業で地域づくりについて学んでいるが、実際に農山村で生活し、地域の一員になり農作業を経験したかった。」



地域づくりインターン事業

きっと忘れることができない――。

小島地区の自然豊かな風土と、

あたたかい農家さんとの思い出。

と目を輝かせて話しました。

初めて経験する農山村での生活、農作業体験など様々なことをインターン事業で経験しました。2人は、農山村で生活することで何を感じ、何を思ったのでしょうか。きっと忘れることができない、かけがえない日々を過ごしたことでしよう。



2. 農家さんにいただいた新鮮な野菜をたくさん味わうことができました。3. 初めて見たアンスリウム！思い描いていたお花とは違いましたが、種類も多く、とても綺麗でした！4. 綺麗に咲いた小菊の収穫のお手伝いをしました。5. 農作業中には、たくさんのトンボが飛んでいて自然豊かな川俣を感じることができました。